

施策番号 3-2-2	施策名 子育て環境の充実	基本目標	誰もが健康で自分らしく笑顔で暮らせるまちづくり		
		政策名	安心して子育てできるまちづくり		
	主管課	子育て支援課	課長名	佐々木 雅之	内線 168
	施策関係課				

施策の方針		対象	意図					結果	
子どもの健やかな心身の成長を促すとともに、教育・保育相互の子ども情報の連携、保護者への教育情報の円滑な提供を促進します。		子ども、保護者	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの健やかな心身の成長 教育・保育相互の連携が進み、保護者への教育情報の提供がスムーズになされる 					保護者が安心して子どもを預けることができる	
成果指標	説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2022年度目標	
① 保育所の保育サービスに満足している保護者の割合	保護者アンケート	%	認可89.4 農村97.9	95.8	96.2	94.8	91.9	95.0	
② 保育所待機児童数	実績数	人/年	0	0	0	0	0	0	
③									
④									
成果指標設定の考え方	①は、町内保育施設を利用する保護者アンケートの結果を成果指標として設定。 ②は、保育所待機児童数ゼロを継続するため、成果指標に設定。								

2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2020年度決算	2021年度決算	2022年度決算
施策事業費(千円)	707,283	727,525	729,830	748,011	789,145
人工数(業務量)	4.0687	4.0060	2.8991	2.6277	2.6313

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
① 2022年度の成果評価 (前年度との比較)	<input type="checkbox"/> 成果は向上した <input checked="" type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	<ul style="list-style-type: none"> 成果指標①が下がっているが、特定施設の満足度が大きく低下したことが要因であり、他施設については目標値を達成している状況。待機児童0も継続しており、全体として維持と判断
② 第5期総合計画前期実施計画の最終的な目標達成状況	<input type="checkbox"/> 目標は達成できた <input checked="" type="checkbox"/> 目標は概ね達成できた <input type="checkbox"/> 目標は達成できなかった	根拠(理由)	<ul style="list-style-type: none"> 最終年度において、指標①の目標値に達しなかったことは改善の余地を示すものであり、要因への対応は既に着手しているところ。 一方、待機児童0の継続、個別に支援を要する子どものための加配職員配置、子どもセンター安定運営への取り組みなど、前期実施計画記載の全般において、目標を達成している項目が多く、未着手項目がない。
(2) 施策の成果評価に対する第5期総合計画前期実施計画の事務事業総括			
① 施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	保育事業 町立保育所運営事業 子どもセンター運営事業	② 施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③ 事務事業全体の振り返り(総括)	「保育事業」「町立保育所運営事業」→私立の認可保育所や認定こども園、小規模保育事業所のほか、町が2か所の保育所を運営するなか、多様な保育ニーズに応じており、待機児童ゼロを継続している。令和元年10月から、幼児教育・保育無償化が開始され、町独自施策として3～5歳児の副食費を無償化し、保護者の経済的負担軽減を図っている。令和5年度からの使用済み紙おむつの施設処分について調整し、実現している。 「子どもセンター運営事業」→町内2か所の子どもセンターとみなみっ子児童館について、放課後や長期休み期間を有意義に過ごせる安全安心な場所として運営している。上美生地域においては補助事業として上美生学童クラブの運営を支援、令和5年度の新たな民間施設開所に向け調整し、運営支援を開始した。		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果(計画策定時との比較)							
担当課 評価	待機児童0、保育施設等における職員加配継続に加え、国の幼児教育・保育無償化に合わせた町独自施策(副食費無償化)の実施、保育の質向上に向けた連携体制の確立など、保護者が安心して子どもを預けることができる、子育て環境の充実が図られた。		A	B	C	D	E
		進捗結果				○	

A: 実現した B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した
D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<ul style="list-style-type: none"> 出生数の減少による未就学児童の減少。一方、共働き世帯の増加により保育施設等入所率は上昇傾向であり、早期入所により、特に0歳児の入所需要が高まっている 国は、「次元の異なる少子化対策」の柱の一つとして、就労の有無を問わず、時間単位で保育所を利用できる「こども誰でも通園制度(仮称)」の創設と、保育士加配による質の向上を目指すことを、たたき台として3月に公表している 全国各地における保育事故の発生や、不適切保育の実態が明らかとなるなか、保育現場へは期待とともにこれまで以上に厳しい目が向けられている。 令和5年度に、市街地を対象とする民設の放課後児童クラブが新たに開所し、住民の選択肢が広がっている
この施策に対して住民・審議会・議会からのような意見や要望が寄せられ、どのように改善したか。	<ul style="list-style-type: none"> 病児保育: 令和5年度以降の町内整備を見込むとして、所管委員会に説明 子どもセンター: 令和5年度の民間委託方針を撤回。運営課題解消に向けた取り組みに並行して、民間活力活用による優位性を再検証し、安定運営に向けた取り組みを計画的に進めていく旨を所管委員会に説明 保育事故の再発防止対策について所管委員会に状況説明し、意見がある 「保育現場における感染症対策と保育士等の負担軽減策について」として、令和4年芽室町議会9月定例会議において一般質問を受けている

5. 施策の課題認識(現状の課題、第5期総合計画後期実施計画期間において新たにに取り組むべき課題)

<ul style="list-style-type: none"> 後期実施計画においても成果指標として「保護者アンケート」の結果を採用しており、平均値を下げている特定施設との協議や助言・指導を継続する必要がある 保育人材確保対策(令和5年度は、(仮称)保育士合同採用説明会を開催) 病児保育町内整備の実現 本町の現状及び国の動向を踏まえた「第3期子ども・子育て支援事業計画」の策定(保育定員の再設定など)
--

6. 経営戦略会議(庁内評価)

評価	担当課評価同様に「前進した」と評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果				○	
今後の取組に対する意見	5に記載の取り組みを進めてください。	A: 実現した B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した					

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	成果指標②の結果(待機児童数0)は、町の取組による結果であると評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果				○	
今後の取組に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> 保育士等の職員に対して、職場環境や働きがいについてアンケート調査を実施してほしい。そのことで子どもと保護者の安心する環境づくりに繋がる。 第3期子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査について、地域の声を直接聞くことが大事だと思う。検討いただきたい。 	A: 実現した B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した					